

高性能林業機械の操作実習

演習林内で高性能林業機械・スウイングヤードの操作実習を行いました。ランニングスカイライン方式・全幹集材です。索張りの設計準備、架設、操作運転、荷掛・荷外し、撤去の一連の作業を全員で繰り返し行います。

もちろん、収穫調査や伐採も学生実習で行い、立木材積や各工程における歩留まりも調べます。

土場で曲りや欠点を外して4mや3mに造材、グラブプル等により、トラック・林内作業車に積み込み、学内にある製材施設まで運び、フォークリフトやトビではい積みします。

今回、伐採した木材は、製材・乾燥、加工され、来年度の自力建設の柱や板等の建築材料として活用されるとともに、伐採地は地拵、植付け、下刈りなどの学生実習の場となります。

(林業再生講座・菊地興志也)



地域材を使った、地元ミュージアムのためのお土産づくり



最近、値段が高くても“社会的にいい”ものを選択する人が増えていきます。社会的意義が求められる時代、どんな活動をし、どんなものを作れば支持されるのか。将来のマーケットを見据え、実験的な試みを学生としてできるのがものづくり講座の特徴です。

今回は、地域材を使った地元のミュージアムのためのお土産づくりを紹介します。岐阜は鶺鴒で有名なまちであり、鶺鴒が行われる長良川のほとりに「長良川うかいミュージアム」があります。そのミュージアムショップで販売するお土産に鶺鴒をモチーフにしたものが少ない、木でできたものがないといった声がありました。そこで学生が鶺鴒をモチーフにデザインしたキッチンツール“清流キッチン”を美濃市のヒノキで制作しました。自分たちでデザインし、作ったものが実際にミュージアムで販売され、お客様の声をじかに聞くことができれば、深い学びにつながります。

他にも、地域に貢献するものづくりや伝統文化を支えるものづくりの事例がたくさんあります。ぜひ、ホームページやブログ、またはオープンキャンパスで見に来てください。

(ものづくり講座 和田賢治)

森と木の就職・転職セミナー

森林・林業 ▲ 山村活性 ● 環境教育 🏠 木造建築 🏠 木工・木育

名古屋11月17日(日)・東京12月15日(日)・岐阜1月5日(日)

エコプロダクツ2013

に出展します。

12月12日(木)～14日(土) 東京ビックサイト

森と木のクリエイター科



林業再生



山村づくり



自然体験活動指導者
インタープリター養成



木造建築



ものづくり

森と木のエンジニア科



(森林・林業、木材利用)

岐阜県立森林文化アカデミーは、森林を多面的に活用し、新たな森林文化の創造に寄与できる人材を育成する2年制の専修学校です。

大卒または実務経験者が対象の森と木のクリエイター科では「林業再生」「山村づくり」「木造建築」「ものづくり」のいずれかの講座に所属して専門的に学び、

高卒以上の人を対象とする森と木のエンジニア科では、全員が「森林・林業・木材利用」を学びます。

🏠 おうらいの茶の間、進行中！！

木造建築講座の特徴ある学びの1つ「自力建設」は、右も左もわからない新入生にいきなり課題を出します。今年は、アカデミー校舎を結び渡り廊下です。今年選ばれた計画案は家族の集まるお茶の間をイメージした「おうらいの茶の間」。夏休み前に同級生が一丸となって実施図面としてまとめ上げました。

木造建築講座の夏は、自力建設の工事に費やします。まずは、照り付ける日差しのもと、基礎工事です。この経験が、将来の自信となります。夏休み？後半は、大工修行です。エンジニア科の学生も交じって、木材を加工していきます。

これらの経験で、何が必要な情報なのか、効果的に職人さんに意図を伝えるにはどうするか、予算やスケジュールの管理の難しさなど身をもって体得します。

9月末には、建て方が待っています。2月の竣工に向けて、いろいろな困難もあるでしょう。ですが、困難が大きいほど、それを乗り越えたところに、達成感、満足感が訪れます。ガンバレ！！一年生。

(木造建築講座 辻充孝)



🌿 地域の自然を知り、活かす！

地域を活性化するにはまずその地域をよく知らなくてはなりません。山村づくり講座1年生では、地域の自然環境をマクロからミクロの視点まで繋げて理解し、その暮らしぶりを社会的・歴史的な視点からもフィールドワークする「地域調査法演習」という授業があります。

まず、事前に地質や地形や植物など自然環境に関することを調べてから現地入り。自分の足で歩きながら自然を確認していくと、新たな発見があります。さらに、地元の話は地元で聞け！ということで、「地元学」の手法を用いて体当たりで地域の情報を集めます。五感を全開にして地域の特徴を感じとり、暮らしの背景にある思いを理解することも重要な訓練です。調べた結果は整理したあと地元の人前で発表します。よそ者の視点を入れることで、地元の人が自分たちの地域を再発見し、誇りを持つことが、地域が元気になる出発点です。学生はフィールドで住民の方とふれあいながら、その手法や重要性について学んでいきます。森林文化アカデミーの授業はいつも実践的です！

(山村づくり講座 柳沢直)



🍄 「森と子どもが教科書です。」

森林を活用した人づくりのリーダーを養成している本コースには、教室や教科書はありません。その代わりに、森のようちえんやプレーパーク、自然教室やキャンプなど、森や子どもと真剣に向き合うナマの現場が教室であり教科書です。

毎日のように森で過ごし、自然や子どもたちから生まれてくる不思議や課題にぶつかり、その答えを学生自らの力で導き出し行動する。そんなふうに体験的に学ぶ方が、知識や技術を一方的に受身で教わるよりも確かな力になると信じているからです。ですから写真のように、子供たちと一緒に、本気で「フシギなムシ」を観察し続けるのも大切な授業です。

自然も子どもも、常に変化し続け、ひとつとして同じものはありません。「今ここ」で何が起きているかを的確にとらえ行動できる、そんなステキな力をもった「人づくり」のプロが今後もアカデミーの森から巣立っていくのを応援し続けたいと思っています。

(自然体験活動指導者・インタープリター養成コース 萩原・ナバ・裕作)



森と木のエンジニア科 入試日程

推薦入試	2013年11月 2日(土)
一般入試1	2013年12月21日(土)
一般入試2	2014年 1月25日(土)
一般入試3	2014年 3月 8日(土)

※一般入試3は一般入試2終了後、定員数を満たしている場合には実施しません。

森と木のクリエイター科 入試日程

一般入試1	2013年11月 3日(日)
一般入試2	2013年12月22日(日)
一般入試3	2014年 1月26日(日)
一般入試4	2014年 3月 9日(日)

※一般入試4は一般入試3終了後、定員数を満たしている場合には実施しません。

インフォメーション

岐阜県立 森林文化アカデミー

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地

tel : 0575-35-2525 fax : 0575-35-2529

mail : info@forest.ac.jp

ホームページ : <http://www.forest.ac.jp>

アカデミーブログ : <http://gifuforest.blogspot.jp/>

facebookページ : <http://www.facebook.com/forest.academy>

※最新情報はホームページをご覧ください。